

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	体力づくり推進事業(日生)	コード	03-02-06-08	担当課係	市民スポーツ課(日生) 体育振興係
事業実施期間		担当者	岡崎 弘子	電話	0869-72-1085
総合計画 事業(政策)体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	生きがいのあるまちづくり			
	小項目	スポーツ・レクリエーション			
	施策	スポーツの普及活動と指導者の養成・確保			

事業について	
目的	スポーツフェスティバル・スポーツ教室を通じ、多くの人が「体を動かす」機会や場所を提供し、スポーツの楽しさ、ルールを知ってもらい、技術の向上はもとより、子供においては青少年健全育成、成人には健康の増進及び仲間づくりの場となることを目指す。
対象(誰のために)	スポーツのできる人なら誰でも。
内容	備前市民スポーツフェスティバル(10月) スポーツ教室(前期5月中旬～7月初旬・中期7月初旬～8月下旬・後期9月中旬～10月下旬)

事業の結果								
実施項目	17年度							
	回数	など	(単位)	回数	など	(単位)	回数	など
	スポーツフェスティバル	1,000	人					
スポーツ教室	73	人						
事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	540	国庫補助金等	0	直接事業費	540	国庫補助金等	0
	人件費	2,350	受益者負担	88	人件費	2,350	受益者負担	88
			市債	0			市債	0
	合計	2,890	一般財源等	2,802	合計	0	一般財源等	0
	必要人員	0.34	人					
結果指標①	結果指標名	スポーツフェスティバル参加者						
	結果指標量	1,000						
	単位	人						
	対前年比	0.00%						
結果指標②	結果指標名	スポーツ教室						
	結果指標量	73						
	単位	人						
	対前年比	0.00%						
事業費	事業費	281,406		円	281,406		円	
	単位当たりコスト②	3,855		円	3,855		円	

事業の成果			
成果指標名	延べ参加者数	式又は説明	各大会・教室参加者数
成果指標量	1,073		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	1,200	到達目標年度	平成19年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等:
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている
市民参画度		スポーツフェスティバルは、世代を超えて気軽にスポーツに触れてもらい、スポーツ人口の底辺拡大に努めている。スポーツ教室は、フェスティバルの様な年1回よりも少し多く、スポーツ習慣を身につけやすくプログラムされていて、よりスポーツ人口の底辺拡大に努めている。

総合評価	教室毎に、対象・内容・場所をできるだけ幅広い年齢の方々に参加していただけるように考慮して行っている。例年とおりの教室にはリピーターが多くあり、その都度友人知人を誘って楽しみにして受講するので廃止は難しい。何れの事業もニュースポーツの紹介・体験の場にとっても有効活用でき、スポーツ人口の増加、また市民の健康増進や仲間づくりの場として必要不可欠な事業である。	評価区分 <A~E> B
------	---	---------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	1,050	結果指標量②	100
目標値 成果指標量	1,150		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	体育指導委員や体育協会と連携し教室等の実施と参加の推進	平成18年度	個々の健康保持とスポーツの盛り上がり。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標と留意しながら有効性の評価を行って下さい。